

ACT Japan 2018 年度・年次ミーティング プログラム(第 1 報)

2018 年 12 月 25 日

2018 年度年次ミーティング開催責任者

土屋 政雄 (ACT Japan 理事/株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント)

【テーマ】「行動変容のための ACT」

アクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) は、現代の行動分析学がヒトの言語や認知に関する理論 (関係フレーム理論, RFT) を発展させる過程で開発が進められてきました。主に言語的な介入に頼る臨床場面で活用される臨床行動分析のアプローチの 1 つに ACT は位置づけられます。ACT は、RFT を臨床実践で適用しやすくするために、行動原理そのものではないが、それに基づいた中間レベルの用語によって構築された病理と治療の臨床モデルを用います。つまり、ACT のモデルは基礎的な行動原理と臨床実践の間のユーザーフレンドリーなインターフェイスといえます。

しかし、実際の介入においては、伝統的な行動分析学や RFT に関する考え方を当然のように活用する場面も生じるため、より上のレベルを目指す ACT ユーザーには、基礎的な行動原理の知識はかかせないでしょう。加えて、ACT は健康な人達のレジリエンスやウェルビーイング、パフォーマンス向上、または健康行動の増進などにも応用され、適用範囲やユーザーの裾野が広がっています。本会のような専門家のコミュニティの役割としては、ACT の原点である行動の考え方について、何度でも立ち戻って確認していく場を提供することが求められるでしょう。そこで ACT の発展の流れを再度確認し、臨床や社会的課題の解決に ACT を活用していくために、今回のテーマは「行動変容のための ACT」としました。

【場所】

目白大学(新宿キャンパス) 7号館 B1 07A00 教室

東京都新宿区中落合 4-31-1 (HP https://www.mejiro.ac.jp/access/#tab_content_01)

最寄駅 西武新宿線・都営地下鉄大江戸線「中井」駅より 徒歩 8 分

都営地下鉄大江戸線「落合南長崎」駅より 徒歩 10 分

東京メトロ東西線「落合」駅より 徒歩 12 分

【参加条件】

ACT Japan の会員、あるいは心理関連領域の専門職および大学院生(2019 年度入学予定者も可)、および本会活動に関心のある方

※ 今回のミーティングでは事例報告があります。守秘義務のある資格(臨床心理士, 公認心理師, 医師等)を持たない方には、個人情報保護誓約書を当日受付で記入していただきます。

【参加費】 ※いずれも当日会場にてお納めください。

一般 会員 4,000 円

一般 非会員 7,000 円

大学院生(会員非会員を問わず) 2,000 円

懇親会費 (会員非会員を問わず)

一般 5,000 円

大学院生 3,000 円

【参加申込の方法】

○参加はすべて事前の申し込みが必要です。

○2019年2月28日(木)までに必ずお申し込みください。

○参加申し込みはこちら(<https://goo.gl/forms/JImxNSd1N1itWql92>)にてお願いします。

【ACT Japan 2018 年度年次・ミーティング日程表】(仮)

1 日目 2019年3月16日(土) 場所:7号館 B1 07A00 教室

13:00～ 受付開始

13:30～16:30 ワークショップ<入門>:「タイトル未定」 講師:三田村仰(立命館大学 総合心理学部)

16:45～17:45 ポスターセッション

18:00～20:00 懇親会

2 日目 2019年3月17日(日) 場所:7号館 B1 07A00 教室

9:30～ 受付

9:30～10:00 総会

10:00～12:10 事例発表(60分程度×2題)

13:10～14:30 教育講演:「関係フレーム理論から考える行動変容」 講師:大月友(早稲田大学 人間科学学術院)

14:40～16:20 大会企画シンポジウム:「価値とコミットメントについて(仮)」

16:20～16:30 閉会

※会の運営に当たっては極力準備作業の軽減を図っております。予めご了承ください。

以上